

# -東京都立八王子北高等学校 第44期生

## 3年次自由選択科目のしおり



### 目次

- 【1】 3年間の履修科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
- 【2】 自由選択制度の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3
- 【3】 科目選択時の注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4
- 【4】 選択科目決定までの日程・・・・・・・・・・・・・・・・・・P5
- 【5】 3年次の心得・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6
- 【6】 自由選択科目の内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6
- 【7】 自由選択科目の説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・P8

2年	組	番	氏名
----	---	---	----

【 1 】 3 年間の履修科目

単位数	1 年	2 年	3 年	
1	国語総合	現代文 B	現代文 B	< 必履修科目 > 全員が必ず履修する (14 単位)
2				
3				
4	地理 A	日本史 B	世界史 B	
5				
6				
7	現代社会	数学 II	政治経済	
8				
9	数学 I	物理基礎	体育	
10				
11				
12	数学 A	生物基礎	コミュニケーション英語 III	
13				
14	化学基礎	体育	< 自由選択科目 > …興味・関心や進路に応じて以下の科目から数科目を選択し、履修する。  I 群 演習国語（一般）、日本史演習、物理、化学、生物、総合美術  II 群 実践小論文、数学 III、化学基礎演習、総合書道、Basic English、男子体育  III 群 数学 II B 演習、物理基礎演習、女子体育、総合音楽、受験英語、フードデザイン  IV 群 演習国語（受験）、政経演習、数学 III、総合書道、総合美術  V 群 演習国語（一般）、世界史演習、物理、化学、生物 Basic English、ファッション造形基礎  VI 群 古典 A、地理演習、数学 III、受験英語、社会と情報（演習）  VII 群 数学 I A 演習、観察生物、情報の科学	
15				
16	体育	保健		
17				
18				
19	保健	芸術 音楽・美術・書道 II		
20	芸術			
21	音楽・美術・書道 I	コミュニケーション英語 II		
22	英語表現 I			
23				
24	コミュニケーション英語 I	家庭基礎		
25				
26				
27	社会と情報	必修選択		
28		古典 A・数学 B コ英語 I・化学基礎		
29	総合的な探究の時間	総合的な探究の時間	総合的な探究の時間	

## 【2】自由選択制度の概要

1・2年次は幾つかの選択科目を除き全員が同じ科目を履修しましたが、3年になると自分で科目を選択し、履修することになります。全員が同じ科目を受けるのではなく、最低限必要な科目(必履修科目)に加えて、**自分に必要な科目を受ける制度**がこの選択制度です。各自の**進路に役立たせること**、各自の**興味を引き出すこと**、可能なかぎり**能力を伸ばすこと**等をねらいとしています。自分の進路や好みにあったものを自主的に選択し、履修しましょう。

### < 時間割 >

時間割は右記のように、 が自由選択、それ以外が必履修科目の時間になります。科目を選択していない時間は空き時間になります。**空き時間は有効に利用**できれば卒業後の人生に役立ちますが、一歩間違えると生活のリズムが狂い、学習意欲がそがれ、進路を考える上で障害となることもあります。自分の進路を考えて自由選択科目を決定しましょう。

	月	火	水	木	金
1限	①	②	③	④	⑤
2限					
3限					
4限					
5限	⑥	⑦	LHR		
6限			総合		

※ ①～⑦にⅠ群～Ⅶ群が入ります。

※ ①にⅠ群が入るとは限りません。

### < 単位数 >

- ・ 2単位 (週2時間、2時間続き)・・・下記の4科目以外の科目
- ・ 4単位 (週4時間、2時間続き×2)・・・物理、化学、生物
- ・ 6単位 (週6時間、2時間続き×3)・・・数学Ⅲ

< 合算科目 >・・・必履修科目に合算して評価され、単位も合算して認定されます。また欠時数も合算します。合算科目は以下の4科目です。

- 世界史演習・・・必履修科目「世界史B」に合算
- 政経演習・・・必履修科目「政治・経済」に合算
- 女子体育・・・必履修科目「体育」に合算
- 男子体育・・・必履修科目「体育」に合算

例 (政経演習を履修した場合)

評価・評定・・・必履修科目の「政治・経済」の成績に自由選択科目の「政経演習」の成績を合わせて、「政治・経済」の評価・評定が決定される。

単位数・・・「政治経済(2単位)」と「政経演習(2単位)」を合わせて、4単位となる。

欠時数・・・「政治・経済」の欠時が3、「政経演習」の欠時数が2の場合、「政治・経済」の欠時数が5となる。

< 学校外の学修 >・・・来年度は実施いたしません。

### 【3】科目選択時の注意事項 **重要!**

1、3年間の修得単位数が74単位以上になるように科目を選択してください。希望進路や1・2年次の成績、学習意欲などにより、選択すべき科目、科目数は人によって異なります（特に未修得単位数を有する生徒は未修得単位数以上の科目を履修すること）。保護者の方や担任と十分に相談した上で、選択科目、科目数を決定しましょう。

$$\begin{array}{ccccccc} \text{卒業単位数} & & \text{1年次修得単位} & & \text{2年次修得単位} & & \text{3年次必履修科目の単位数} \\ (74) & - & (29) & - & (29) & - & (15) = \boxed{1} \end{array}$$

□の中に入る単位数が、あなたが自由選択科目で最低限修得しなければならない単位数です。選択の際はこの単位数以上履修しなければなりません。（1単位科目はないので、**2単位以上**）

- 自由選択科目はI群～VII群で構成され、1つの群からは1講座のみ選択可能です。また、数学IIIを選択する場合はII群、IV群、VI群すべてにおいて数学IIIを選択し、物理、化学、生物を選択する場合も、I群、V群すべてにおいて、物理 化学 生物の中の1科目を選択してください。
- 自由選択科目は、対象者が制限されている場合があります。P8からの科目内容の説明をよく読み履修しましょう。
- 履修希望者数が定員を超えた科目は調整を行います。調整の結果、希望した科目の履修ができなかった場合は、他の科目を履修することができますが、すでに定員に達している科目の履修はできません。
- 自由選択科目によっては、「1・2年次に定められた科目を履修していなければ、履修することができない科目」、「同時に履修することができない科目」があります。P8からの科目内容の説明をよく読み履修しましょう。
- 必要な科目や興味・関心のある科目を良く考え、選択しましょう。「友達を選んだから」という理由で決めると、受験に必要な科目を受講しなかったり、必要以上に選択したりします。保護者の方や担任とよく相談してから決めるようにしましょう。
- 希望者の少ない科目は開講されない場合があります。開講の有無については、後日担任より連絡があるので十分に注意してください。
- 履修が確定した科目の変更・取り消し・追加などは、原則として認めません。
- 希望調査用紙の提出が遅れたり、不備がある場合には希望通りに履修ができなくなる場合があります。

【4】選択科目決定までの日程

<b>7月13日(水) 2限【今日】</b>	<b>3年次自由選択科目の説明会(今の時間)</b> 教務部から、自由選択科目について大まかな話をします。
<b>7月20日(火)</b>	<b>終業式</b> 夏季休業中に自分の進路をしっかりと見つめましょう。
<b>9月1日(水)</b>	<b>始業式</b> 教科によって、提出すべき課題は必ず出しましょう。
ここから、大まかな流れです。日程の詳細は分かり次第、担任等から伝えてもらいます。	
<b>9月28日(水) 予定</b>	<b>3年次自由選択科目の説明会 各教科より選択科目の説明</b> 「自由選択科目第一次希望調査用紙」配布
<b>適宜</b>	この間に志望校の試験科目等を調べ、選択科目を決定していく。 <b>2者面談・3者面談(必要に応じて)</b>
<b>10月1日(土)</b>	<b>保護者会(希望調査の実施並びに、今後の予定を保護者の方に説明します。)</b>
<b>10月12日(水)</b>	<b>「自由選択科目第一次希望調査用紙」提出締切 16:00まで 厳守!</b>
<b>適宜</b>	<b>2者面談・3者面談(必要に応じて)</b>
<b>11月2日(水)</b>	<b>「自由選択科目本調査用紙」配布</b>
<b>11月25日(金)</b>	<b>「自由選択科目本調査用紙」提出締切 16:00まで 厳守!</b>
不成立講座へ希望した生徒の調整、超過人数の調整等を行う。 受講希望者数が定員を超過した講座は調整を行う。	
<b>11月下旬</b>	<b>各自由選択科目の履修者決定</b>
<b>3月中旬</b>	<b>2年次の単位を修得できなかった者の自由選択科目の追加履修 すでに定員に達している科目の履修は認められない。</b>

## 【5】3年次の心得（調査書の発行について）

- ◇ 就職の書類提出は9月の上旬に行われ、試験は中旬。下旬には結果が出る。
- ◇ 専門学校への選抜は10月1日に始まり、受付順に決まる学校もある。
- ◇ 大学・短大の推薦者は3年1学期までの成績をもとに、本校選考会議を経て決められる。  
出願は10月中旬頃から始まる。
- ◇ 卒業に必要な条件(修得見込み単位数74単位以上等)が満たされていない場合(例えば年欠の場合など)、調査書は発行されず、2学期から就職や進学への準備ができない。

## 【6】自由選択科目の内容

◇ \*は必履修科目との合算科目

◇以下の科目は履修に制限があります。

「総合書道」 → すべての人に選択する権利があります。但し芸術科で一つだけです。

「総合美術」 → すべての人に選択する権利があります。但し芸術科で一つだけです。

「総合音楽」 → すべての人に選択する権利があります。但し芸術科で一つだけです。

◇以下の科目は同時に履修することができません。

・「演習国語（受験用）」と「演習国語（一般用）」

（演習国語（一般用）も、一つしか履修することができません。）

・Ⅲ群の「フード・デザイン」とⅤ群の「ファッション造形基礎」

・Ⅲ群とⅥ群の「受験英語」

・Ⅱ群とⅤ群の「Basic English」

・Ⅳ群とⅠ群の「総合美術」、Ⅱ群とⅣ群の「総合書道」、Ⅲ群の「総合音楽」

・Ⅰ群、Ⅴ群の「生物」とⅦ群の「観察生物」

・Ⅵ群の「社会と情報」とⅦ群の「情報の科学」

◇「数学Ⅲ」を希望する者は、**Ⅱ群、Ⅳ群、Ⅵ群すべての「数学Ⅲ」を履修しなければなりません。**

◇「物理」「化学」「生物」のいずれかを希望する者は、**Ⅰ群、Ⅴ群にある同講座を履修しなければなりません。**

◇自由選択科目の「講座名」は校内で使用する名称であり、調査書などの公式な書類には「科目名」で記載します。

◇学校外の学修は来年度（令和5年度）は実施いたしません。

～ M E M O ～

## 【7】自由選択科目の説明

### ☆ I 群

講座番号	教科	科目	講座名	単位数	定員	講座数	講座内容（内容・条件・目的等）
11	国語	学校設定	演習国語 (一般用)	2	30	2	<p>初級レベルの問題集や国語に関する常識についての問題集をベースに授業を行う。漢字や語句の演習的な学習、志望動機や作文に必要な基礎的な表現の訓練から始まって、初級の受験問題の演習まで行い、短大等の受験にも対応する。総じて、四年制大学以外の進学に対応できることを目的とした授業を行う。</p> <p>V 群の「演習国語（一般用）」およびIV群の「演習国語（受験用）」と併せて履修することはできない。<b>希望者が15名に満たない場合は開講しない。</b></p>
12	社会	日本史 B	日本史 演習	2	40	1	<p>対象:受験で日本史を使う生徒及び、日本史に強い関心のある生徒。 内容:2年次の学習内容を基礎に問題演習を行う。 形式:演習と講義。</p>
13	理科	物理	物理	4	24	1	<p>理系大学や理系専門学校進学希望者を対象として、2年生で学習した物理基礎の内容を基に、物理の内容（運動量、円運動、万有引力、光、電磁気、熱力学、原子など）を学んでいく。2年生で物理基礎を履修した人を対象とします。</p> <p><b>V 群の「物理」と合わせて4単位を履修しなければならない。</b></p>
14	理科	化学	化学	4	12	1	<p>内容:理系大学・短期大学、理系専門学校進学希望者を対象に、結晶・気体の状態方程式・溶液の性質・反応熱・電池・化学平衡・無機物質・有機化合物・高分子化合物など<b>化学の全ての分野</b>を学ぶ。 条件:化学基礎演習を2年次に履修した者が望ましい。</p> <p><b>V 群の「化学」と合わせて4単位を履修しなければならない。</b></p>
15	理科	生物	生物	4	22	1	<p>受験で生物を使う生徒及び生物に強い関心のある生徒を対象とする。看護・医療・生物分野進学希望者は<b>入学後に関係するので</b>、ぜひ受講するようにしてください。</p> <p>・V 群の「生物」と合わせて4単位を履修しなければならない。 ・VII群の「観察生物」と併せて履修することはできない。</p>
16	芸術	学校設定	総合美術	2	25	2	<p>1.2年次美術を選択した生徒だけではなく美術を希望する全ての生徒を対象としている。</p> <p>1.2年で美術を選択し更に幅広く美術を学びたい生徒や美術系の進路を考えている生徒に加え、1.2年次は他の芸術科目を選択したが3年次に美術を選択したい生徒や進路設定にあたり美術を学ぶことが必要になった生徒にも対応する科目として総合美術の設定を考える。</p> <p>内容については多様な生徒に対応したデッサン・着彩・彫刻・デザインから工芸的内容まで多岐にわたる教材を用意し、生徒の必要に合わせて指導していく。</p>



## II 群

講座番号	教科	科目	講座名	単位数	定員	講座数	講座内容（内容・条件・目的等）
21	国語	学校設定	実践小論文	2	15	1	原則として進学希望者で、毎時間800字以上の小論文課題を書いて提出する力と意欲のあるものを対象とする。社会的事象にも関心を持ち、それに対する見解をまとめ表現する能力を養う。文章を読んで要約したり、意見をまとめるなどの訓練をし、各自の作品を推敲したり、相互批判したり、先生が添削したりする。 <b>希望者が10名に満たない場合は開講しない。</b>
22	数学	数学Ⅲ	数学Ⅲ	6	20	1	理工学系進学希望者（4年制大学）対象。 <b>2年次に「数学B」を履修した生徒のみ受講可。</b> 1・2年次に学んだ数学ⅠAⅡBの内容をさらに発展させた形で学習する。「微積分」「2次曲線」「複素数平面」等、高度な内容を取り扱う。1・2年次に学んだ数学の知識を前提として授業は進められ、 <b>授業の進度も早くなる。途中での取り下げは一切できないため、履修する場合は覚悟をもって履修すること。「数学ⅡB演習」も併せて履修することが望ましい。</b> <b>Ⅳ群、Ⅵ群の「数学Ⅲ」と合わせて6単位を履修しなければならない。</b>
23	理科	化学基礎	化学基礎演習	2	20	1	内容：化学の問題演習を行い、解法技術を身につける。 条件：受験科目に <b>化学基礎</b> が設定されている者。進学・就職先で化学分解の知識が必要な者。
24	芸術	学校設定	総合書道	2	25	1	1年を通して毛筆と硬筆の授業をバランスよく行います。毛筆では、基礎的な楷書から発展的な仮名まで、どのような書体があるのかを一通り学びます。その後は水墨画を学んでいきます。毎回半紙課題の提出があります。硬筆では、硬筆を上手に書くコツをまとめた映像を見てポイントを学習し練習を積んでいきます。学期末に「応用ペン習字」という練習帳の提出があります。 <b>*書道用具</b> （筆、小筆、墨液、半紙）を準備する必要があります。
25	英語	コミュニケーション英語Ⅰ	Basic English	2	30	2	英語の4技能（読む・聞く・書く・話す）の基本的な能力を向上させることを目的とします。また高校レベルの基本的な文法事項のおさらいも併せておこないます。英語の文章（物語や新聞記事など）を読んだり、リスニングをしたり、プレゼンテーションをしたりミニドラマを演じたりなど英語という言葉を使って様々な活動をする予定です。ペアワークやグループワークの時間を多くとる予定ですので、目的意識をもって真面目に、かつ、積極的に授業に参加できる生徒を募集します。様々な活動を通じて、英語の基礎を伸ばしたいと思う生徒は受講してください。 <b>V群の「Basic English」と併せて履修することはできません。</b>

講座 番号	教科	科目	講座名	単 位 数	定 員	講 座 数	講座内容（内容・条件・目的等）
26	体育	体育	男子体育 (*合算)	2	24	1	テニスを中心に行う予定だが、他の種目を行う場合もある。基本から始めて高度な技術・プレーまで習得させ、より高いレベルのゲームを行えるようにする。1年間を通して、最終的には自分達で準備・ウォーミングアップ・班編制・ゲーム組み合わせ・審判・後片付けなど全てできるようにする。選択者の条件として1・2年時出欠状況が良好であり、授業態度等で指導（チェック）をうけていないこととする。選択者については体育科で会議を開いて決めることとする。

### ☆Ⅲ群

講座 番号	教科	科目	講座名	単位数	定 員	講 座 数	講座内容（内容・条件・目的等）
31	数学	学校設定	数学ⅡB 演習	2	30	1	受験で数学Ⅱ・Bを必要とする生徒が対象。大学入試対策として数学Ⅱ・Bの問題演習を行う。原則、2年時に「数学B」を履修した生徒のみ受講可。
32	理科	物理基礎	物理基礎 演習	2	40	1	センター試験受験希望者や理系大学や理系専門学校進学希望者または特に物理基礎を学びたい者を対象として、2年生で学習した物理基礎やその他の理科の分野の内容を復習しながら、問題演習を行います。2年生で物理基礎を履修した人を対象とします。
33	体育	体育	女子 体育 (*合算)	2	24	1	テニスを中心に行う予定だが、他の種目を行う場合もある。 基本から始めて高度な技術・プレーまで習得させ、より高いレベルのゲームを行えるようにする。1年間を通して、最終的には自分達で準備・ウォーミングアップ・班編制・ゲーム組み合わせ・審判・後片付けなど全てできるようにする。 選択者の条件として1・2年時出欠状況が良好であり、授業態度等で指導（チェック）をうけていないこととする。選択者については体育科で会議を開いて決めることとする。
34	芸術	学校設定	総合音楽	2	10	1	大学・短大・専門学校の保育学科への進学を希望する生徒対象。 将来必要となる歌やピアノ、リトミックなど基礎的な内容から、徐々に発展させていきます。後半はコードネームを学習し、ピアノ伴奏付けを行います。発表形式のテストを学期末に実施します。

35	英語	コミュニケーション 英語Ⅱ	受験英語	2	20	2	<p>目標：本学から指定校推薦で進学者の多い大東亜帝国レベルの一般受験合格を目指す。英語力に応じて日東駒専、GMARCHレベルを視野に入れた演習を行い一般入試での合格を目指す。</p> <p>目的：4年制大学合格に向けた実力を養成する。</p> <p>高校卒業後に一人で英語を勉強できる実力を養成する。</p> <p>将来、英語を使って仕事をする土台を作る。</p> <p>内容：単語テスト、文法の復習、構文読解、長文（精読と速読）、英作文、リスニング</p> <p>心得：毎日、授業以外に最低3時間は英語を勉強する気概の有る者。3年次になるまでに英検準2級の合格、または、それと同様の実力を養ったものの受講が望ましい。もしくは、今、実力を養おうと懸命に努力している者の受講を勧める。</p> <p>・VI群の「受験英語」と併せて履修することはできません。</p>
36	家庭	フード デザイン	フード デザイン	2	20	1	<p>「食べること」に関する技術と知識を学習する。栄養に関する知識、基礎的な調理理論の学習とそれに基づいた実習を行う。実習は、基礎をしっかりと学ぶ。理論の考査や実技のテストも実施する。実習材料費として年間7000円程度4月当初に必要である。評価は、授業の参加態度、提出物、学習意欲、出席状況を重視する。実習だけを行う講座ではないので、注意すること。</p>

☆ IV群

講座番号	教科	科目	講座名	単位数	定員	講座数	講座内容（内容・条件・目的等）
41	国語	学校設定	演習国語 (受験用)	2	30	1	<p>基本的には過去の受験問題の読解、及び解法の実習を中心に授業をすすめる。</p> <p>初級の問題集から順に、中級、上級へとすすみ、二学期の後半には大学共通テストの問題も扱う予定である。加えて、説明文〔評論〕の内容を要約する練習も行う予定である。総じて、四年制大学受験（日東駒専レベル）を目標とした授業を行う。</p> <p>I群、V群の「演習国語（一般用）」と併せて履修することはできない。<b>希望者が15名に満たない場合は開講しない。</b></p>
42	社会	政治・経済	政経演習 (*合算)	2	40	1	<p>政治・経済での受験を考えている者、政治や経済に関心のある者を対象とする。主に新聞記事の読み取りやまとめを通じて時事問題・社会問題の分析を行っている。講義型の授業だけでなく、生徒同士のディベートやプレゼンテーションなど、学習成果の発表・共有の機会を多く設定している。</p>
43	数学	数学Ⅲ	数学Ⅲ	6	30	1	<p><b>II群「数学Ⅲ」と同様。II群、V群の「数学Ⅲ」と合わせて6単位を履修しなければならない。</b></p>
44	芸術	学校設定	総合書道	2	25	1	<p>II群「総合書道」と同じ内容です。</p>
45	芸術	学校設定	総合美術	2	25	2	<p>1. 2年次美術を選択した生徒だけではなく美術を希望する全ての生徒を対象としている。</p> <p>1. 2年で美術を選択し更に幅広く美術を学びたい生徒や美術系の進路を考えている生徒に加え、1. 2年次は他の芸術科目を選択したが3年次に美術を選択したい生徒や進路設定にあたり美術を学ぶことが必要になった生徒にも対応する科目として総合美術の設定を考える。</p> <p>内容については多様な生徒に対応したデッサン・着彩・彫刻・デザインから工芸的内容まで多岐にわたる教材を用意し、生徒の必要に合わせて指導していく。</p>

☆ V群

講座番号	教科	科目	講座名	単位数	定員	講座数	講座内容（内容・条件・目的等）
51	国語	学校設定	演習国語 (一般用)	2	30	2	I群の「演習国語（一般用）」と同様。 I群の「演習国語（一般用）」およびIV群の「演習国語（受験用）」と併せて履修することはできない。 <b>希望者が15名に満たない場合は開講しない。</b>
52	社会	世界史B	世界史 演習 (*合算)	2	40	1	基本的に、世界史Bの授業で扱う分野以外を補う講義である。映像資料なども参考にしながら、今後の世界がどのように変わっていくかを深く考察するなど、より世界史を身近に感じられる内容である。
53	理科	物理	物理	4	30	1	I群の「物理」と合わせて4単位を履修しなければならない。
54	理科	化学	化学	4	30	1	I群の「化学」と合わせて4単位を履修しなければならない。
55	理科	生物	生物	4	30	1	I群の「生物」と合わせて4単位を履修しなければならない。
56	英語	コミュニケーション 英語 I	Basic English	2	30	2	II群の「Basic English」と同様。 II群の「Basic English」と併せて履修することはできません。
57	家庭	ファッション 造形基礎	ファッション 造形基礎	2	12	1	作品制作を中心とした講座である。服（和服）の制作、手芸など、努力しくもの>を作り上げることを学習する。4月当初に材料費として7000円程度が必要である。服作りなどに興味があり、じっくり作業に取り組める生徒が受講すること。

☆ VI群

講座番号	教科	科目	講座名	単位数	定員	講座数	講座内容（内容・条件・目的等）
61	国語	古典A	古典A	2	30	1	<p>二年次必修選択古典の授業を踏まえ、より高度な内容を学習し、文系四年制大学の受験に備える。現状では、古文のみの予定だが、希望者が多数の場合は、漢文も行う。また、二年次に古典Aを履修している者のみ受講可。<b>希望者が10名に満たない場合は開講しない。</b></p>
62	社会	地理A	地理演習	2	40	1	<p>1年生で学習した地理の内容をより深く学ぶ。また、各自、地理のさまざまな分野からテーマを設定し、レポート等を作成する。地理を学ぶ意欲のある生徒のみ選択してください。教科書・地図帳を持っていること。</p>
63	数学	数学Ⅲ	数学Ⅲ	6	30	1	<p>Ⅱ群「数学Ⅲ」と同様。Ⅱ群、Ⅳ群の「数学Ⅲ」と合わせて6単位を履修しなければならない。</p>
64	英語	コミュニケーション英語Ⅱ	受験英語	2	20	2	<p>Ⅲ群の受験英語と同様。 ・Ⅲ群の受験英語と併せて履修することはできません。</p>
65	情報	社会と情報	「社会と情報」演習	2	20	1	<p>1年生の必修科目「社会と情報」の応用講座です。Wordを使用したビジネス文書の作成やExcelを使用した表計算、グラフ、関数などの実習を中心に行ないます。コンピュータグラフィクス、ウェブデザインはやりません。プログラミングに興味のある人は「情報の科学」を選択してください。「情報の科学」と同時には取れません。</p>

☆ VII群

講座番号	教科	科目	講座名	単位数	定員	講座数	講座内容（内容・条件・目的等）
71	数学	数学 I	数学 I A 演習	2	40	1	受験で数学 I・Aを必要とする生徒が対象。大学入試対策として数学 I・Aの問題演習を行う。都立看護専門学校等、数学 I・Aが試験科目である専門学校への進学を考えている生徒も対象としている。
72	理科	生物基礎	観察生物	2	20	1	生物分野に関する観察・実験・実習を中心とした授業。生物(4単位)を受講しない生徒を対象とする。
73	情報	情報の科学	情報の科学	2	20	1	1年生の必修科目「社会と情報」の応用講座です。Wordを使用したビジネス文書の作成や Excelを使用した表計算、グラフ、関数などの実習と VBAを使用したプログラミングの実習を行います。コンピュータグラフィクス、ウェブデザイン、ゲームはやりません。「社会と情報」と同時には取れません。